

会 議 名	令和6年度第1回 木更津市駐屯地に関する協議会漁業協同組合部会		
開 催 日	令和6年8月22日(木)	場 所	駅前庁舎 防災室・会議室
時 間	午後2時30～午後3時10分まで		
出席者	渡辺委員(木更津市企画部長・部会長)、高橋委員(金田漁業協同組合長)、江野澤委員(新木更津市漁業協同組合長)、鈴木委員(新木更津市漁業協同組合副組合長) 齋藤2等陸佐(陸上自衛隊第一ヘリコプター団 高級幕僚)、姫野2等陸佐(陸上自衛隊第一ヘリコプター団第三科長) 阿部室長(北関東防衛局地方調整課基地対策室)、矢野係長(北関東防衛局地方調整課基地対策室)		
議題	木更津駐屯地に配備されている航空機の運用に関する懸念事項等について(公開)		
その他	なし		
配付資料	01 会議次第 02 委員名簿及び出席者名簿 03 【資料1】木更津駐屯地に関する協議会の概要 04 【資料2】第4回木更津駐屯地に関する協議会定例会の開催結果 05 【資料3】木更津駐屯地に配備されている航空機の運用に関する懸念事項等について (参考資料)第4回木更津駐屯地に関する協議会定例会議事要旨 (参考資料)木更津駐屯地に関する協議会設置要綱 (参考資料)木更津駐屯地に関する漁業協同組合部会設置要領		
概要	議題 木更津駐屯地に配備されている航空機の運用に関する懸念事項等について 【説 明】 ●青木 木更津市企画課基地対策係長説明 説明資料3に基づいて説明 【主な質疑応答・意見等】 高橋委員)陸上自衛隊オスプレイの暫定配備が開始されてから来年で5年が経過するが、佐賀の進捗状況等について説明いただきたい。 阿部室長)佐賀への移駐については、令和5年6月に現場での作業に着手し、様々な施設の整備を行っているところであるが、それらの整備を令和7年6月末までに完成させることとしており、その後に移駐する予定となっている。 高橋委員)木更津にある17機のオスプレイは、全て佐賀に移駐するということか。 阿部室長)そのとおりである。 江野澤委員)令和7年3月31日をもって、佐賀に移駐するということではなかったか。 阿部室長)陸上自衛隊オスプレイが木更津駐屯地に配備された日から起算して5年以内ということになっているため、1機目が同駐屯地に到着したのが、令和2年7月10日であることから、令和7年7月9日が暫定配備の期限となる。 高橋委員)佐賀に移駐した後も、整備で木更津に来るということか。 阿部室長)日常的な整備は佐賀で行うこととなるが、定期機体整備は木更津で行うこととなっている。 高橋委員)整備を行っている機体は、飛行訓練を行わずに整備が終了次第、佐賀に帰るということか。 姫野第三科長)整備が終了した機体については、当該機の安全性を確認するために、整備後に確認飛行を行うこととなっている。その際には、場周経路を周回するような飛行はせずに、東京湾又は相模湾上空で確認飛行を行うこととなる。 江野澤委員)米軍のオスプレイの整備は、木更津駐屯地で行っているということか。 阿部室長)米軍のオスプレイの定期機体整備は、木更津駐屯地で行っている状況である。 江野澤委員)そうすると、オスプレイは木更津からいなくなるということか。 阿部室長)定期機体整備の状況次第である。 高橋委員)新たに格納庫を2棟建設しているということだが、米軍と自衛隊でそれぞれ何		

	機整備するといった計画は決まっているのか。 阿部室長)施設自体の収容能力にも一定の限界はあるが、実際の運用状況や機体の使用状況にもよるため、一概に何機とはお答えすることは難しい。 鈴木委員)最大で何機が整備できる予定なのか。 青木係長)防衛省からの情報提供によると、現在、木更津駐屯地内の格納庫で2機整備しているが、その機体は、沖縄県の普天間飛行場に所属している米海兵隊のオスプレイで、米軍が発注し、SUBARUが受注して整備を行っており、当該整備の契約期間は、令和3年7月1日から令和12年12月31日までとなっている。一方で陸上自衛隊のオスプレイの定期機体整備をいつから実施するかについて、現時点で防衛省から情報提供はないが、今後、いつになるかは分からないが、陸上自衛隊のオスプレイについても、木更津駐屯地で定期機体整備を行うと防衛省から伺っている。また、現在の契約の中では、整備対象機は51機となっており、木更津駐屯地と厚木基地の2箇所で行っている状況である。 江野澤委員)騒音測定はどこで行ったのか。 青木係長)今年度に市が騒音測定を行った場所は、江川総合運動場内の野球場や陸上競技場がある付近で、滑走路の延長線上にある地点である。 江野澤委員)それは何回くらい行ったのか。 青木係長)国で定められた測定マニュアルに基づき、1週間24時間の短期測定という方法で1回騒音測定を行った。昨年度も同じ場所で騒音測定を行い、結果として環境基準を上回った状況である。 江野澤委員)江川海岸や木更津海岸など、もっとうるさいところで測定した方がいいのではないか。 青木係長)市の騒音測定については、専門業者に委託して行っているが、測定場所の選定にあたっては、色々と要件がある。 江野澤委員)滑走路の延長線上で測定しても、航空機ではないので意味がない。ホバリングであるとか飛行する前の音がうるさい。 青木係長)ご意見については、騒音測定の所管部に共有するとともに、次年度の騒音測定を実施するにあたり、検討させていただく。 江野澤委員)新たに格納庫を建設しているが、その関係で江川の方の水路に排水が結構出ている。水質に問題はないか。 阿部室長)排水対策については、必要な対策を講じているものと認識している。 【その他】 ●佐賀駐屯地(仮称)の整備状況について 阿部室長)佐賀駐屯地(仮称)に関する工事については、令和5年6月から現場での作業に着手し、現在、隊庁舎や格納庫、整備場などの各建物の躯体等の工事や駐機場の地盤改良工事などを行っているところである。防衛省としては、陸自オスプレイの移駐に最低限必要な施設整備を令和7年度6月末までに完成させることとしており、その後、駐屯地を開設、陸自オスプレイの移駐を進める予定である。
--	---